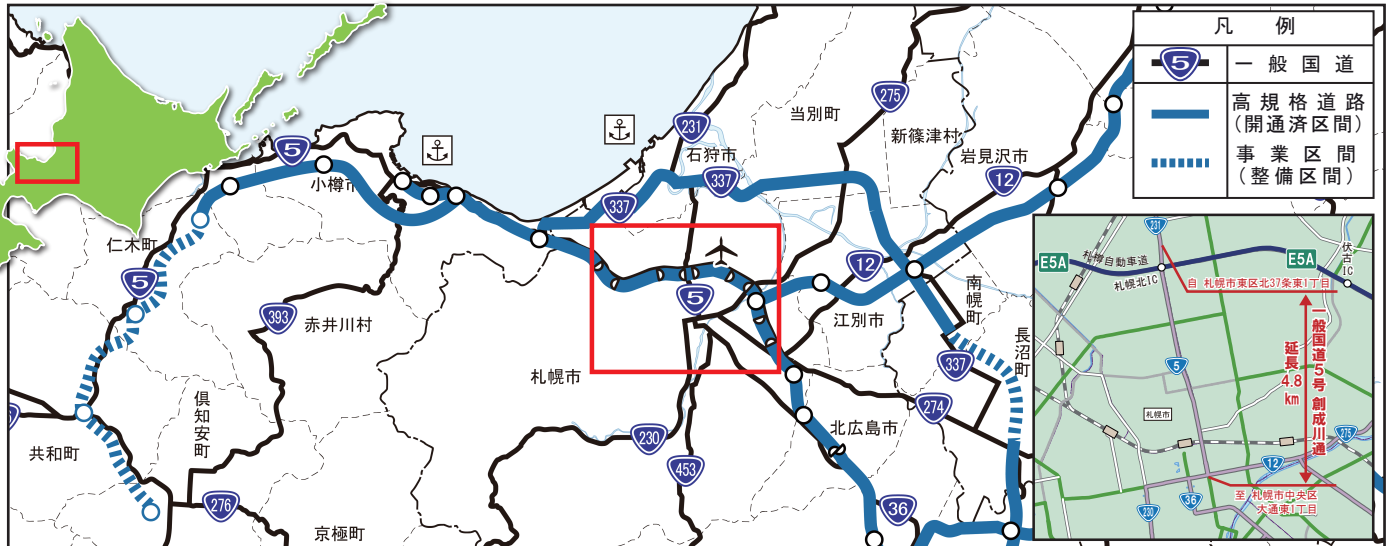


そうせいかわどおり

一般国道5号創成川通



凡例

	一般国道
	高規格道路 (開通済区間)
	事業区間 (整備区間)

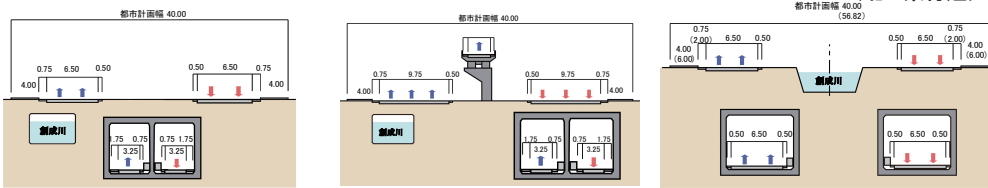
■事業の概要

一般国道5号は、函館市から札幌市に至る延長約283kmの道央地域と道南地域を結ぶ主要幹線道路です。一般国道5号創成川通は、北海道新幹線札幌延伸に伴う効果を全道に波及させ、都心アクセス強化による都市機能の最大化、都心部への物流交通の安定性向上による企業・経済活動の支援等を目的とした事業です。

- 2方向2車線区間【北35条付近】
- 2方向3車線区間【北31条付近】
- 2方向4車線区間【北22条付近】(北3条付近)

標準定規図

(単位: m)



■地下トンネルイメージ



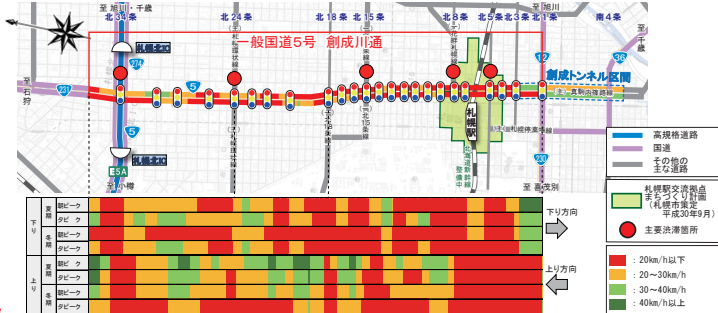
整備効果

1 札幌都心部と高速道路のアクセス

様々な都市機能が集積する札幌都心部と高速道路を結ぶ創成川通は、主要渋滞箇所や信号連担等により速度低下と渋滞が日中でも断続的に発生し、所要時間のばらつきも生じるなど、定時性が課題です。

当該道路の整備により、所要時間のばらつきの改善による定時性確保と主要渋滞箇所、信号交差点の回避が期待されます。

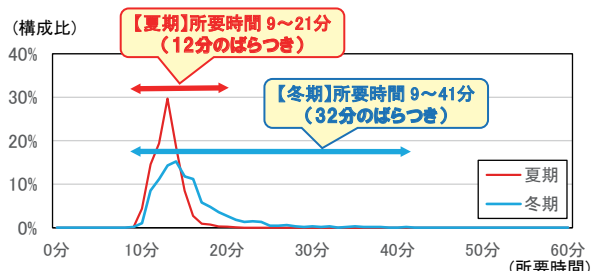
【現道(国道5号)の夏期・冬期平日の交通状況】



資料: ETC2.0プローブデータ(R4.4~R7.3)

【国道5号創成川通の所要時間のばらつき

(上下線)(札幌北IC~北3条交差点)



資料: 夏期: 4月~11月 冬期: 12月~3月 ETC2.0プローブデータ(R4.4-R7.3)

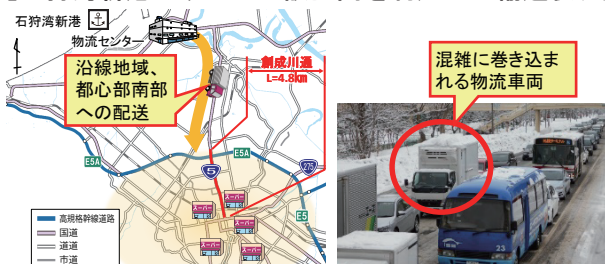
整備効果

2 物流交通の速達性・安全性

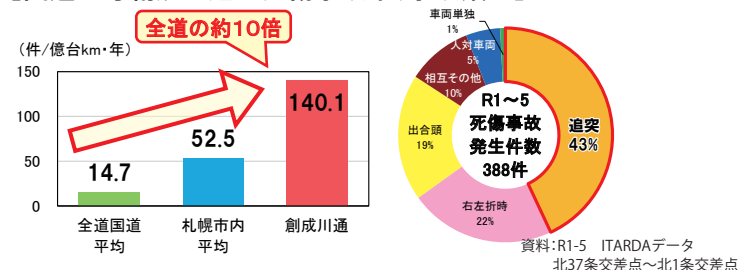
石狩湾新港地域は、道内で有数の冷凍冷蔵倉庫の集積地であり、これらの地域から札幌都心部や札幌南部への配送において創成川通が利用されていますが、創成川通では、連続する信号に起因する渋滞が通年で発生しています。さらに、創成川通の死傷事故率は全道平均の約10倍であり、混雑に起因する追突事故の割合が約4割を占め、物流の速達性・安全性が課題です。

当該道路の整備により、物流交通の速達性や安全性が向上し、企業・経済活動を支援することが期待されます。

【石狩湾新港地域から当該区間を利用した輸送状況】



【国道5号創成川通の死傷事故率、事故類型】



資料: R1-5 ITARDAデータ 北37条交差点~北1条交差点